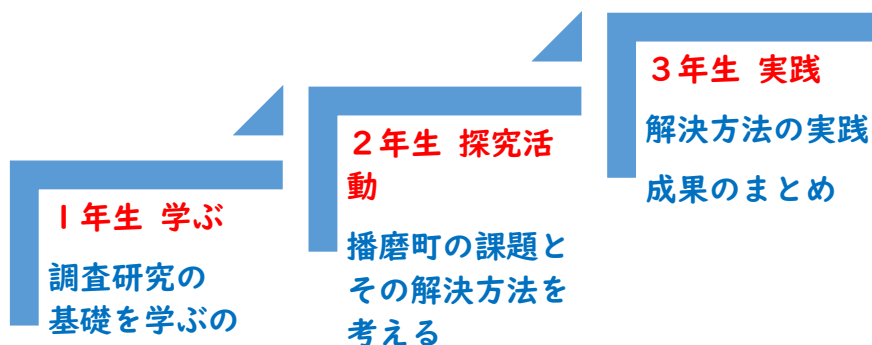


# 特色ある教育活動 「地域デザイン類型」

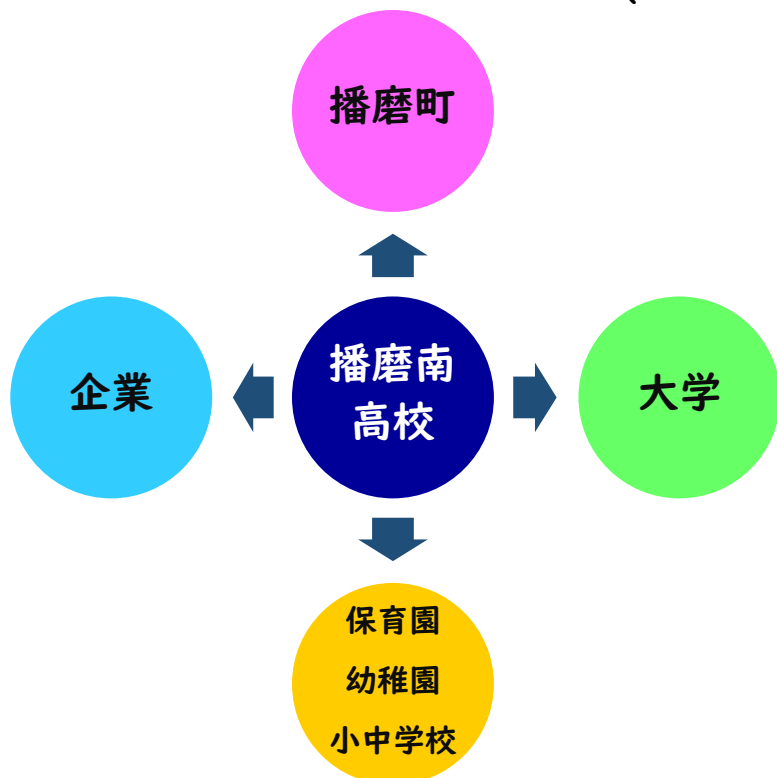
地域デザイン類型は令和4年度に設置され、学校設定科目「HariMAP Basic」・「HariMAP I」・「HariMAP II」・「プレゼンテーション演習」を通して、地域の課題を考え、調査・研究をしながら、解決に向けて行動する探究活動を行います。この活動には、播磨町からの全面的な支援があり、播磨町役場、その他関係機関の皆さんと協働した取り組みを行っていきます。

探究活動を通して、主体的に学びに向かう力、チームで協働して活動する力、地域の多様な方々との連携に必要なコミュニケーション力を育成することで、進学・就職の進路実現を目指します。

学校設定科目のほか、「総合的な探究の時間」を活用して、1年生では調査の手順や発表方法など、調査研究の基礎になる知識・技能を学びます。2年生では播磨町の課題とその解決方法を考える探究活動を行います。3年生では播磨町の課題を解決するための活動を実際に行います。そして、これらの成果を兵庫大学が主催する現代ビジネスプラン・コンペに応募します。令和7年度は3年生3組が本戦に進み、うち1組が審査員特別賞を獲得しました。



## HARINAN コンソーシアム(共同事業体)



地域デザイン類型の授業を中心に、学校全体で探究活動を実施します。

学習のフィールドは、地域全体に広がります。保育園児から高齢者まで多様な人々と交流し、行政職員、大学教授、企業職員など、様々な分野の専門家から直接学びます。

主体性・多様性・協働性を育み、大学の総合型選抜入試や面接、小論文に対応する力をつけます。

## ○実際の授業のようす



### 連携協定による専門家の講義

兵庫大学との高大連携協定により、現代ビジネス学部の松本茂樹教授のご講義を定期的を受けています。グループごとに専門的なアドバイスもいただいています。

### 各種ワークショップに参加

校内外で行われる地域課題解決のワークショップに参加し、自分たちの考えを様々な世代の人と共有し、アドバイスをもらう活動を積極的に行っています。



### 播磨町議会との意見交換会

播磨町議会の議員さんにご協力いただき、播磨町の課題を研究した結果と新たな企画を提案書としてまとめ、意見の交換をします。

### 地域デザイン類型発表会

ポスターセッションで各班の成果を発表しました。質疑応答でのやりとりもあり、新たな気づきも得られたようです。当日は、兵庫大学、播磨町議会等の外部の方も参加されました。



### 現代ビジネスプラン・コンペ

兵庫大学が主催する現代ビジネスプラン・コンペに応募し、予選を通過すれば兵庫大学で発表を行います。2025年度は本戦に3組が参加し、うち1組が審査員特別賞を獲得しました。

## ○「地域デザイン類型」Q & A

Q1 地域デザイン類型の目標は？

A1 体験研究活動を通して地域の課題に適切に対応し、発展に寄与すると共に、主体性、多様性、協働性を育成し、大学の総合型選抜や就職試験に対応することを目標としている。

Q2 どのような授業が行われているのか？

A2 さまざまな調査から播磨町の課題を考え、高校生目線での解決策の研究や提案をまとめる主体的な活動を中心に授業を行っている。研究結果やまとめた提案は地域での発表や、外部のコンテストに応募し、発表を行っている。

## 令和7年度、40回生の活動

### 1. 「播磨町イラストコンテスト」

・播磨町内の小学生の夏休みの宿題で播磨町の景色の絵を書いてもらい、はりまシーサイドマーケットと大中遺跡祭りで展示することで、播磨町の知名度を上げることを目指した。9作品の応募があり、全作品を展示した。

### 2. 「不要な雑草を肥料に変身」

・加古郡衛生センターに集まった雑草から米ぬかと納豆で肥料を作った。約半年発酵させた。肥料になったかどうかは検証できなかったが、市販の肥料と混ぜて校内で使用した。

### 3. 「映像を使った文化施設のPR」

・兵庫県立考古博物館と播磨町郷土資料館の知名度を上げるためにPR動画を作成し、各施設のアカウントのYouTubeに載せていただいた。

### 4. 「子育て支援センターの利用促進」

・南部子育て支援センターの利用者を増やすため、自作のおもちゃを持参して、赤ちゃんや保護者と交流する会を2回開いた。

### 5. 「HariMAP公式SNS始めます」

・播磨町のイベントや播磨南高校の地域デザイン類型の活動を紹介するInstagramのアカウントを作成し、播磨町や播磨南高校のPRを図った。

### 6. 「小学生向けホームページ」

・小学生向けに播磨町のホームページを作成し、播磨町内で行われるイベントの紹介や、ふるさと納税の返礼品の紹介を行った。

### 7. 「大中遺跡で古代食体験をしよう」

・大中遺跡の利用客を増やすため、播磨町内の小学生を対象に古代食体験を2回開催した。小学生と共に火起こしを行い、高校生が自作した弥生土器を使って炊飯、おにぎりにして試食をした。2回の開催で14名の小学生が参加した。この活動により、サンテレビの「ひょうご発信」に2名の生徒が出演した。また、2月11日の兵庫県高等学校探究活動研究会で発表を行った。

### 8. 「はりまシーサイドマーケットで屋台を出す」

・若者に播磨町に来てもらうため、9月27日に望海公園で行われたはりまシーサイドマーケットでさつまいもジェラートを販売した。加古川青年会議所に紹介していただいた「アイスやねん」さんにキッチンカーと食材を準備していただき、当日は一緒に調理・販売した。若者をイベントに集めるための商品だったが、当日はファミリー層が多かった。生徒達が狙った客層ではなかったが、商品は完売することができた。

## 9. 「町を明るくするチャレンジショップ」

・若者に播磨町に来てもらうため、9月27日に望海公園で行われたはりまシーサイドマーケットでアサイーボールを販売した。加古川青年会議所に紹介していただいた「アイスやねん」さんにキッチンカーと食材を準備していただき、当日は一緒に調理・販売した。若者をイベントに集めるための商品だったが、当日はファミリー層が多かった。生徒達が狙った客層ではなかったが、商品は完売することができた。また、イベントのスタッフTシャツのロゴや屋台のメニューも作成した。

## 10. 「Gomibako in harima」

・9月27日に望海公園で行われたはりまシーサイドマーケットに設置するごみ箱を作成した。昨年度はごみ箱を設置しなかったところ、ポイ捨てが多かったため、高校生が自作したごみ箱を設置することで、ポイ捨てを減らし、ごみの分別の意識づけをしてもらおうとした。

## 11. 「播磨町 PicMap を作ろう」

・子育て世帯に向けて、播磨町の公園に特化した PicMap を作成した。デジタル地図に公園の遊具やトイレ、駐車場などの写真を載せることで、子育て世帯が公園を確認しやすくてできるようにした。作成には兵庫大学の堀池教授に指導していただいた。

この実践を兵庫大学ビジネスプラン・コンペで発表したところ、審査員特別賞を獲得した。

## ○発表会用に作成したポスター



大中遺跡で古代食体験をしよう



### 課題

播磨町の知名度が低く、その中でも大中遺跡の来客数が少ない

### 目的

播磨町の知名度を上げる  
大中遺跡の来客数を増やす

### 内容

大中遺跡で小学生対象に古代体験イベントを開催、火おこし体験、弥生土器を使い炊飯、炊けたご飯でおにぎりを作るを企画  
7月30日と11月8日に実施した



### 効果

高校生が企画・運営をすることで興味を持ってもらえること、小学生が参加することで拡散してくれる効果が期待される



### 結果

古代体験を実施し、サンテレビの方に好評を得て取材を受け、9月14日(日)のサンテレビに出演することができた

2回目では、前回の改善を活かし、大人の方の協力をあまりしてもらわないで自分たちで行動し、炊飯の待機中は弓切り式の違う火おこし方法(もみ切り式)で体験してもらった

小学生に感想を聞き、楽しかったやもう1度開催してほしいなどの声もありました



## ★播磨町PicMapを作ろう★ (課題)

子育て中の親御さんたち向けに  
播磨町の公園PicMapを作る

### (理由)

- ・播磨町のガイドマップが見にくい
- ・役場に行かないと入手できない



### (実際行ったこと)

- ①公園の写真を撮る
- ②兵庫大学の堀池教授にPicMapの作成方法を教えてもらう
- ③PicMap作成
- ④実際に使用してもらいアンケート取得
- ⑤アンケートをもとに改善
- ⑥ビジネスプランコンペ アクティビティ部門 出場



### (まとめ)

ビジネスプランコンペでは、  
審査員特別賞を受賞 ✨  
実際に子育て中の方に使用して  
いただくことができた

